

第 79 回姫路市美術展

79th HIMEJI CITY ART EXHIBITION



[第79回] 令和7年度

姫路市美術展

2026 **2.28**_{sat} — **3.22**_{sun}

姫路市立美術館

Press Release



概要

今年度で第 79 回となる姫路市美術展の開催と作品審査の申込み受付開始をお知らせします。本展は、15 歳以上*であれば国籍、居住地を問わず、どなたでも応募できる「開かれた展覧会」として、戦後間もない昭和 21 年（1946 年）11 月に第 1 回展が開催されて以来、令和 2 年（2020 年）新型コロナウイルス感染症拡大の影響で一度中止になった例を除き、毎年開催されてきた兵庫県下で最も歴史の古い公募展です。展覧会場も亀山本徳寺、姫路城西の丸、ヤマトヤシキ百貨店、姫路市公会堂、姫路市文化センターなどの変遷を経て、昭和 58 年（1983 年）からは姫路市立美術館での恒例行事となっています。

絵画（日本画）、絵画（油彩画等）、彫塑・立体、工芸、写真、デザインの全 7 部門で作品を募集し、入選・入賞作品を展覧会において展示します。全国各地、多くの皆様からの申込みをお待ちしております。

* 15 歳以上 … 平成 22 年(2010)年 4 月 1 日以前に生まれた方

会 場 | 姫路市立美術館 企画展示室
会 期 | 令和 8 年 2 月 28 日（土）
～3 月 22 日（日）
観覧料 | 無料
時 間 | 午前 10 時～午後 5 時
（最終日は午後 1 時まで）

休館日 | 3 月 2 日（月）、9 日（月）、16 日（月）
主 催 | 姫路市、姫路市立美術館
協 賛 | 姫路美術協会、（公財）姫路市文化国際交流財団、姫路商工会議所、（公社）姫路青年会議所、姫路ケーブルテレビ（株）

今年度（第 79 回）からの主な変更点

▶ 応募申込料（出品料）の設定

誰もが芸術に触れ、発表できる機会として将来にわたって本展を続けていくことを目的として、作品の審査等に要する費用の一部について、出品者の皆様にご負担いただくこととしました。

※25 歳以下（平成 12 年 4 月 1 日以降生まれ。以下同様。）の方は年齢が確認できる資料の提出により無料となります。

▶ 「U-25 しらさぎ賞」の新設（各部門 1 点以内）

若年層の参加促進を目的として、25 歳以下の方の作品を対象とする賞を新設します。

▶ オンラインによる事前申込開始

応募者の利便性向上を目的として、「姫路市オンライン手続ポータルサイト」を利用した事前申込を開始します。事前申込を済ませた方は、作品搬入日に作品をご持参いただくのみ。申込用紙の入手（または印刷）や記入、当日の応募申込料（出品料）のお支払いなど煩わしい手続きは不要です。

関連イベント

最新情報は美術館公式 HP をご確認ください。

作品講評会

展覧会場にて各部門審査員による講評会を実施します。

日 時：会期中の土曜日または日曜日（日程が確定次第、ホームページでお知らせします。）

場 所：姫路市立美術館 企画展示室

参加費：無料

同時開催

〈コレクションギャラリー〉

「オールひめじ・アーツ&ライフ・プロジェクト
オムニバス（Ⅲ期）」 チームラボ、隈研吾ほか

〈國富奎三コレクション室（常設展示）〉

「フランス近代絵画 モネからマティスまで」

作品募集

募集要項（応募資格・作品規格）

姫路市立美術館公式 HP でご確認ください。

URL : <https://www.city.himeji.lg.jp/art/0000023318.html>

※「申込用紙」を印刷して使用される際は「A4 サイズ、両面印刷（長辺とじ）」を指定してください。

オンライン事前申込

期 間 : 令和 7 年 10 月 21 日（火）午前 10 時～令和 8 年 2 月 3 日（火）午後 5 時

応募申込料（出品料）：1,500 円／1 件

申込方法 : 「姫路市オンライン手続ポータルサイト」（右下 QR）から申込み

※事前に「利用者登録」を行い、利用者 ID を取得する必要があります。

※「@city.himeji.hyogo.jp」のメールを受信できるよう設定を変更してください。

※申込みにあたって、以下が必要となります。

・インターネット環境

・クレジットカード

（VISA／Mastercard／JCB／AmericanExpress／DinersClub）

・年齢確認書類（25 歳以下の方のみ）

申込ページ



当日申込

申込用紙（募集要項）に必要事項を記入し、作品搬入日に「作品」と「申込用紙」を持参してください。

応募申込料（出品料）：2,000 円／1 件

作品搬入（当日申込受付）

日 時：令和 8 年 2 月 7 日（土）～2 月 8 日（日） 午前 10 時～午後 5 時

場 所：姫路市立美術館（〒670-0012 姫路市本町 68-25）

入賞・入選

内容

- | | |
|---------------|---|
| ・姫路市長賞 | … 賞状・賞金 5 万円（各部門 1 点） |
| ・姫路市立美術館賞 | … 賞状・賞金 3 万円（各部門 1 点） |
| ・姫路美術協会賞 | … 賞状・賞金 3 万円（全部門で 5 点以内） |
| ・姫路市文化国際交流財団賞 | … 賞状・賞金 2 万円（全部門で 6 点以内） |
| ・姫路商工会議所会頭賞 | … 賞状・賞金 1 万 5 千円（全部門で 5 点以内） |
| ・姫路青年会議所理事長賞 | … 賞状・賞金 1 万 5 千円（写真部門 1 点） |
| ・WINK賞 | … 賞状・賞金 1 万 5 千円（写真部門 1 点） |
| ・U-25しらさぎ賞 | … 賞状・賞金 1 万円（各部門対象作品から 1 点以内） 今年度新設！ |

※25 歳以下の方の作品が対象です。

- | | |
|------|-------|
| ・奨励賞 | … 賞状 |
| ・入選 | … 入選証 |

表彰式

日 時：令和 8 年 2 月 28 日（土）午後 2 時～

場 所：姫路市立美術館 2 階講堂

※奨励賞・入選の方は表彰がありません。

第 79 回姫路市美術展審査員プロフィール

※敬称略

絵画（日本画）部門



山田 伸（京都芸術大学教授）

京都芸術大学芸術学部美術工芸学科教授。草花を静謐かつ緻密に描いた作品を数多く発表し、日本美術院を中心に活動、入賞を重ねる。第 92 回院展では日本美術院賞と足立美術館賞を受賞。現在は日本美術院展同人。1991 年には薬師寺中門仁王像彩色事業、94 年には安土城天守閣障壁画再現事業といった文化財関連事業にも参加。再興第 109 回院展文部科学大臣賞受賞、再興第 110 回院展内閣総理大臣賞受賞。

坂上 義太郎（BB プラザ美術館名誉顧問）

柿衛文庫学芸員を経たのち、伊丹市立美術館では開設準備担当として設立段階から関わり、同館の学芸員と館長を歴任。BB プラザ美術館にも開設準備から携わり、現在は同館の館名誉顧問。日本の近現代美術を多く収蔵する同館で、近現代の著名日本画家の展覧会から地元作家を発掘する展示まで、幅広い展覧会を企画・担当。



絵画（油彩画等）部門



やなぎ みわ（美術作家、舞台演出家）

美術作家、舞台演出家。京都芸術大学客員教授。京都市立芸術大学美術研究科修了。在学中より布を使った造形やインスタレーションを制作。ジェンダーや老い、抑圧されたパーソナリティを合成写真の手法を用いて表現した作品を発表する。2006 年から 2011 年まで神戸芸術工科大学准教授を務めた。

速水 豊（三重県立美術館館長）

姫路市立美術館、兵庫県立美術館学芸員を経て、三重県立美術館館長となる。海外の近現代美術、日本の洋画などに造詣が深く著書に『シュルレアリスム絵画と日本 イメージの受容と想像』（NHK ブックス）編著に『古賀春江』（本の友社）など。「美術館の夢」（2002 年）、「昭和モダン・絵画と文学」（2013 年）などの展覧会を企画・担当。



彫塑・立体部門



西山 美なコ（現代美術家）

1990年代より日本の消費社会の表層にひそむ「カワイイ」や「ピンク」、「装飾」といったテーマに着目し、「リカちゃんハウス」を巨大化した《ザ・ピンクハウス》のような立体造形作品や、砂糖を使って王冠を作り時間の経過を観察する作品を制作。2000年代に入り、限りなく消え入るような壁画や、光の反射を利用した知覚に関わる作品、シュガーペーストを用いたインスタレーションなどにも取り組む。京都精華大学立体造形コース 非常勤講師を長年勤めていた。

工芸部門



福田 浩子（広島県立美術館学芸課長）

工芸史（特に中央アジア）、東西文化交渉史を研究対象とする。主な展覧会企画として、アジアの染織展（1996年）トルクメン・ジュエリー展（1999年）、八木一夫展（2005年）、竹の造形展（2004年）、ブータン展（2017年）等を担当。同館は、刺繍布や民族衣装、インドの古更紗など、アジアの工芸品を多く所蔵・展示しており、所蔵品展中の特集として「中央アジアの刺繍と衣装 # 乙嫁たちの手仕事2」（2021年）を企画するとともに、「伝統工芸展」も担当してきた。

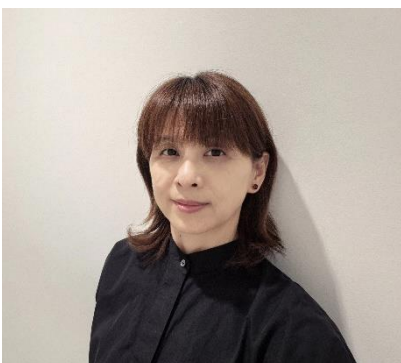
日野田 崇（手色形楽家、嵯峨美術大学教授）

西洋近代の「Fine Art」や日本語の「美術」に代わる枠組みとして「手色形楽（しゅしきけいがく）」という言葉を提唱し、自身の制作を定義づけるものとしている。表面が漫画的な図柄で覆われた独特のカラフルな立体造形によって、色やかたちそのものの価値を見つめなおすことを試みる。2019年より嵯峨美術大学教授。2010年京都府文化賞奨励賞受賞。

（撮影：福永一夫）



デザイン部門



平林 恵（横尾忠則現代美術館学芸課副課長）

早稲田大学第一文学部美術史学専修卒業。エセックス大学（英国）大学院修了。1995年より2005年まで養老天命反転地勤務。金沢21世紀美術館学芸員を経て、2015年4月から現職。主な展覧会企画に「日比野克彦アートプロジェクト『ホーム→アンド←アウェー』方式」、「未完の横尾忠則—君のものは僕のもの、僕のは僕のもの」（金沢21世紀美術館）、「横尾さんのパレット」「レクイエム 猫と肖像と一人の画家」「復活！横尾忠則の髑髏まつり」（横尾忠則現代美術館）がある。

写真部門



安来 正博（国立国際美術館研究員）

関西学院大学文学研究科修士課程修了。和歌山県立近代美術館学芸員を経て、2000年より国立国際美術館主任研究員。主な企画展に「アメリカの中の日本 石垣栄太郎と戦前の渡米画家たち」（1997）、「デモクラート 1951-1957 開放された戦後美術」（1999）、「大地の芸術 クレイワーク新世紀」（2003）、「アジアとヨーロッパの肖像」（2008）、「横尾忠則全ポスター」（2010）、「草間彌生 永遠の永遠の永遠」（2012）などがある。

若松 保広（写真家、飛鳥園撮影担当）

大学卒業後、飛鳥園に入社。小川光三に師事し同社の撮影担当を務める。仏像を中心に文化財、奈良の風景などを撮影。主な写真集に『天台宗京都区寺院誌』（天台宗宗務所）がある。また『モノクローム写真による風景と佛の世界』（秋篠寺内別院）などの個展も開催。奈良市美術展などの審査員も務める。



書部門



村上 松月（兵庫県書作家協会参与）

かな書を専門とする書家。兵庫県書作家協会参与、読売書法会理事、書道香瓊会参事などをつとめる。書道研究会「書道香瓊会」で、かな書の指導・普及にあたり、イタリアやモンゴル、など海外での日本文化普及事業にも参加し、ベトナムではハノイ大学名誉客員教授の称号を受ける。読売書法展や日展を中心に作品を発表している。オルセー世界芸術遺産作家。

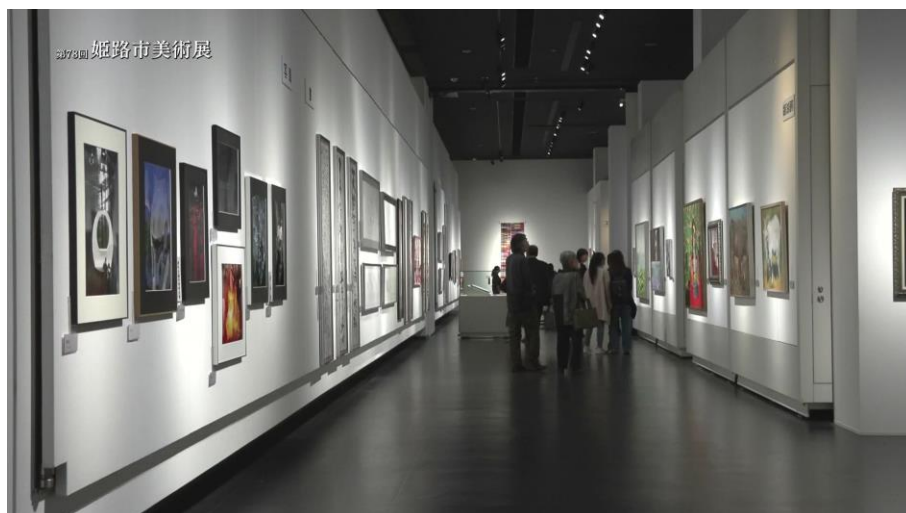
浅田 大遠（兵庫県書作家協会運営理事）

漢字を専門とする書家。読売書法会理事、公益社団法人日本書芸院評議員、兵庫県書作家協会運営理事など各団体の役員をつとめる。また、書道研究「璞社」総務会議長、書作家グループ「仁文会」会長、国立ハノイ大学芸術名誉客員教授として後進の指導や書文化の普及にも取り組む。日展会友、雅涎会会員などとして作品を発表している。



第 78 回姫路市美術展の様子

会場風景



表彰式風景



講評会風景（写真部門、審査員：澤田知子氏（左奥））

